

互山

新宿区立戸山小学校

ひとりひとりの子どもを大切にするために

主幹教諭 上野恵

新学期の身体測定の前には、養護教諭による保健指導があります。2年生の授業をのぞくと、えんみさきこさんによる、「だいじ だいじ どこだ?」という絵本を読み聞かせてしている最中でした。

この絵本では、「じぶんのからだは、じぶんのもの。」として、自分のからだの大切さ、そして自分の気持ちを大切にすることが繰り返し出てきます。

特に「なるほど!」と思ったのは、病院での診療やおうちの人が体を洗うときも、子どもに確認して同意をとることです。赤ちゃんのころは大人が全身洗ってあげたとしても、小学生はもう一人の小さな人間なのです。大人も子どもの意思を尊重することが大切なのだとも学びました。

東京都教育委員会の目標には、「互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間」の育成があります。人権教育というのは、保護者や教員といった身近な大人も意識していかなければならないものです。

家庭や学校は、子ども達が「自分は大切にされている」と感じられる場所でしょうか。「安心して自分自身を出せる」場所でしょうか。

まずは、子どもの話に耳を傾け、「うん。うん。」と相づちを打ちながら話を聞く、「ふうん、〇〇だったのね。」と子どもの言ったことを繰り返すなどから始めてみるとよいそうです。

我々大人が相手を尊重し、よい手本を示すことで、子ども達の人権意識を高めていきましょう。

生活指導部より



戸山小では、集中して学習にのぞむために、下記のようなきまりをもうけています。箱型の筆箱を使用してください。

ふでばこ はこがた しんぶる つか かんぺんけーす
筆箱は、箱型でシンプルなものを使います。カンペンケース

つか はこがた ふあすなーしき つか
は使いません。箱型でも、ファスナー式のものはいけません。(戸山小の生活 P.5 より)

日光移動教室

6年担任

6年生は8月29日から2泊3日で日光移動教室に行ってきました。一学期中からグループ毎に調べ学習を行ったり、実行委員が中心となりしおりの作成やレクリエーションの打ち合わせをしたりと、準備からとても力を入れて取り組んでいました。

日光移動教室では、様々な場所を訪れました。足尾銅山、華厳の滝、日光東照宮など歴史的な建造物や自然が作り出した景色に魅了され子ども達も様々なことを感じ取ったことでしょうか。また、キャンプファイヤーや学習会を通して共に楽しみ学ぶ姿も立派でした。中でも、宿舎での生活や団体行動を通して、多くのことを学びました。部屋での過ごし方、布団の敷き方畳み方、食事のマナー、入浴のマナー、靴の並べ方など細かなところから他人と過ごすための配慮を学びました。そして、その中で友達と協力し過ごしていく楽しさも感じたことと思います。コロナ禍で思うように学校行事ができなかった6年生ですが、日光移動教室の三日間で多くのことを感じ取り心身ともに成長しました。

保護者の皆様には夏休み中にも関わらず、PCR検査キットの受け取り及び検体の提出にご協力いただきありがとうございました。子ども達は、移動教室中や帰校後の体調の悪化もなく元気に過ごすことができました。気が付けば、一年ももう半分を過ぎました。これからも学習や行事を通して子ども達の成長に関わっていただけるよう教職員一同努めてまいります。

学年の窓 1年

1年担任

入学してから約半年が経ちました。国語の学習では、長い時間をかけて取り組んできた「ひらがな」や「カタカナ」の学習を終え、ついに漢字の学習が始まりました。子ども達はこの日をとても楽しみにしていたようで、新しいドリルを食い入るように見ていました。漢字の成り立ちや複数の読み方等、新しい知識にも興味深々です。

そんな1年生が初めて習った漢字は「木」。これからの漢字学習の基礎となる木の根をしっかりと張れるよう、とめ・はね・はらいや、漢字の正しい使いかたなど、丁寧に学習を進めていきます。